



平成28年度 君津南地区 地域ケア会議 報告書

平成29年1月30日（月）君津市生涯学習交流センターにて、

「ちょっとした手助け」「人間関係の希薄化」について意見交換を行いました。

内容

平成28年11月に実施した、1回目の地域ケア会議では、君津南地区の地域課題として「人間関係の希薄化」「認知症の理解」「ちょっとした手助け」という意見があがり、2回目で検討するテーマを「ちょっとした手助け」「人間関係の希薄化」との2つに絞りました。

2回目に行われた地域ケア会議では、参加していただいた各団体で、できる事はないか、特に「自助・互助」の力を活かしてできる事を検討していただき、その結果を発表しました。
その後、南地区としてこういった取組みを行っていくかの意見交換を行いました。

ご意見

●ちょっとした手助けについて

- ・ 陽光台では自治会中心に助け合いが自然になされている。
- ・ 中富北地区のお助け隊はボランティア登録することによって活動費用が助成され保険にも入ることができ活動しやすくなった。
- ・ 新たなお助け隊を地区に立ち上げるよりも、今あるあんしん事業の協力会員を増やすことで、地域のお助け隊にも広がるのではないかと。
- ・ 現在のあんしん事業の協力会員の募集方法について社協から説明。回覧板、社会福祉大会、福祉まつり等でのPRを行っている。
あんしん事業のサービスを知らない人もいる。広く周知し、根付かせていくことが必要。あわせて、協力会員を増やす方法について検討していく必要があるのではないかと。

ご意見

●人間関係の希薄化について

- ひとり暮らしに対しての社協の活動について、現在は5か所で「ふれあいサロン」を実施している。また、小学5年生が一人暮らしのお年寄りにあてる手紙を作って民生委員が届けている活動がある。
サロン（外出するもの）は介護予防に効果的だが、男性の参加が少ない。
- 理学療法士より「介護予防の取り組みを本人が意識した時点では『手遅れ』になるケースが男性に多いが、早めに取り組めば回復が早いのは女性より男性に多い」という話があった。
- ふれあい館の運動教室には男性が多い。指導してくれる人がいると参加者が多い。男性が参加しやすいサロンやサークルを目指したい。

ご意見

●その他について

- 安否確認の際の個人情報の取り扱いについて、君津市独自のルールを作って、連絡が取れない人についての情報を提供できるようにしてはどうか。

まとめ

- あんしん事業の周知を徹底して、利用を促進するとともに、協力会員を増やせないか。公民館活動をしている方を対象にするなど、地域の支え合いの大切さを説明しながら、あんしん事業を知ってもらえる活動を検討していく。
- 一人暮らしで弱っていく人を減らすために、まず、地区のサークルやサロン、健康体操教室がどこにあるのか整理することから始める。
また、弱っていく人はどういう人が多いのか、参加しやすくするにはどうしたら良いのかを検討していく。
- 民生委員と介護支援専門員との交流会を持つことによって、風通しの良い関係づくりができるように思われるので、今後検討していく。

ご意見を参考にさせていただき、平成29年度の地域ケア会議を実施していきたいと思えます。



君津市地域包括支援室
Tel 0439-56-1732
君津市久保 2-13-1
君津市役所 高齢者支援課